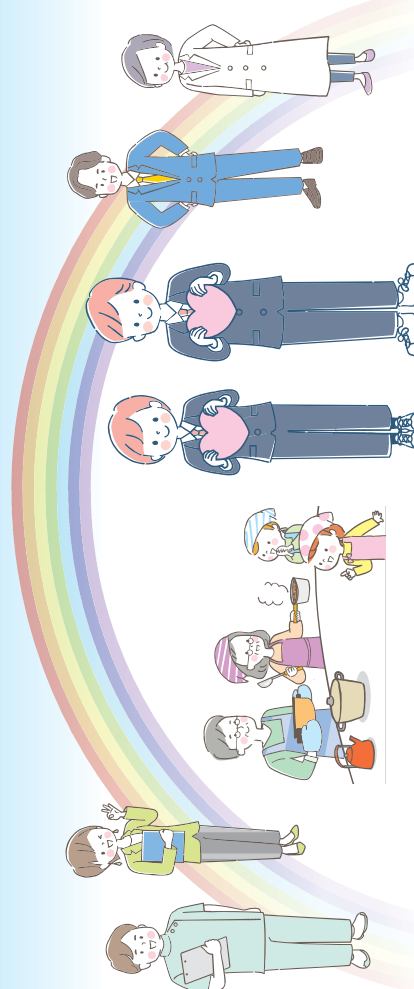


ヤングケアラーをぎっかけに考える

「みんなの居場所」

プログラム



ヤングケアラーについて

子ども・若者育成支援推進法は、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っている」と認められる子ども・若者として、ヤングケアラーを、国・地方公共団体等が各種支援に努めるべき対象としています。
(出典: 子ども家庭庁ホームページ「ヤングケアラーについて」)

ヤングケアラーは、ケアが日常化することで学業や友人関係等に支障が出てしまうなど、個人の権利に重大な侵害が生じているにもかわらず、子ども本人に自覚がないなどの場合もあり、顕在化しづらいことから、支援を必要とするヤングケアラーに周りの人が気づくことが難しいと考えられます。

みなさんの周りにいませんか ～ヤングケアラーのしていることの例～

	障がいや病気の家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている		障がいや病気の家族の身の回りや身の守りや声かけなどの気づかいをしている		障がいや病気の家族の入院や退院の介助をしている
	家族に代わり、おきょうだいの世話をしている		障がいや病気の家族の看病や身の回りや身の守りや声かけなどの気づかいをしている		障がいや病気の家族の身の回りや身の守りや声かけなどの気づかいをしている
	障がいや病気の家族に代わり、おきょうだいの世話をしている		障がいや病気の家族の看病や身の回りや身の守りや声かけなどの気づかいをしている		障がいや病気の家族の身の回りや身の守りや声かけなどの気づかいをしている

	本人に自覚がない場合も		家族のために一生懸命ケアをしていることも		ひとつだけでなく、複数のケアを担っていることも		家庭内のデリケートな問題であるため、表面化しにくいことも
--	-------------	--	----------------------	--	-------------------------	--	------------------------------

みなさんにできること ～子どもたちの周りに信頼できる大人を増やす～

ヤングケアラーたちが困っていることを話すのは簡単ではありません。子どもたちが少しでも困りごとを話せるように、子どもたちの周りに信頼できる大人を増やしていきましょう。例えば、次の4つのことを参考に、子どもたちやそのご家族と関わっていきましょう。

	見守る		声をかける		話を聴く		気持ちを尊重する
--	-----	--	-------	--	------	--	----------

相談してみたい、詳しく知りたいというときは...

	市町村に相談してみる場合は:		支援事例を参考にする場合:		ヤングケアラー支援全般を知りたい場合は:	
--	----------------	--	---------------	--	----------------------	--

日時 令和7年 2月9日(日)
13:30～16:30
(13:00開場)

会場 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)ホール(7階)

アンケートにご協力をお願いします

シンポジウム終了後、QRコードからアクセスいただき、アンケートにご記入いただきますようお願いいたします。



ヤングケアラーをきっかけに考える

「みんなの居場所」



【プログラム】

オープニング(応援パフォーマンス)

大阪府立花園高等学校 ダンス部

BUN UP THE DANCE / LEAP HIGH! ~明日へ、めいっぱい〜 / 舞華(マスカレード)

主催者あいさつ

大阪府知事 吉村 洋文 (ビデオメッセージ)

基調講演

ヤングケアラーと子ども若者の居場所

講師：認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅 誠氏

—— 休憩 ——

パネルディスカッション

誰ひとり取り残さない「みんなの居場所づくり」へ

コーディネーター：一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事 堀越 栄子氏

パネラー(順不同)：

大阪公立大学 教授 濱島 淑恵氏

大阪府立桜塚高等学校校定時制の課程 准校長 今西 良介氏

社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会 事務局次長 猪俣 健一氏

認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅 誠氏

—— 閉会 ——

大阪府立花園高等学校 ダンス部



初めまして！花園高校ダンス部です！
今回は私たちにこのような素晴らしい機会をくださり、ありがとうございます！
私たちは、1年生18人、2年生14人、計32人で活動しています。

本日の演目のうち、最初の2曲は、今回の舞台のためにたくさん準備してきた作品です。
最後の演目は、去年の夏に全国大会に出場し、披露した「舞華(マスカレード)」という作品です。この機会を通して、もっと多くの同世代の仲間や、たくさんの人たちにヤングケアラーについて、知ってほしいという思いを込めて全力で踊ります！ぜひ、私たちのダンスを楽しんでください！

大阪府立花園高等学校文化祭ダンス部門コンテスト優秀校(2024年)
決勝大会出場(2024年)
第9回クローバー(甲子園)15DIVISION グランプリ(2024年)
DANCE CLUB CHAMPIONSHIP第12回全国高等学校ダンス部選手権

【講師紹介】

基調講演

湯浅 誠氏 社会活動家・認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長

1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣府社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。
子ども家庭庁「こども家庭審議会」委員、居場所部会委員。
東京大学先端科学技術研究センター 特任教授・経済同友会委員。

パネルディスカッション

堀越 栄子氏 日本ケアラー連盟 代表理事・認定NPO法人さいたまNPOセンター 代表理事
日本女子大学を卒業後、2010年に日本ケアラー連盟の創設に関わり、以来、全国2万世帯のケアラー実態調査や自治体におけるヤングケアラー実態調査、政策提言、自治体職員や専門職、市民団体等へのケアラー・ヤングケアラー支援研修を担当している。人間の基礎的ニーズを満たすには、異なる社会経済セクター(営利・非営利・営利的)が重なる生活を支えることが必要であると考え、地元では、市民団体・NPOを支援するNPOの活動を通じて、市民自治のまちづくりに取り組んでいる。
著書(共編著・分担執筆)に「市民生活と自治体責任」(学陽書房)、「暮らしをつくりかえる生活経営力」(朝倉書店)、「総合介護条例のつくり方」(ぎょうせい)など。

濱島 淑恵氏 大阪公立大学 教授

専門は高齢社会における介護・家族・ワークライフバランスなど。家族介護者の生活問題と支援制度を研究テーマとし、2016年、国や自治体に先駆け、高校生を対象にヤングケアラーの調査を大阪で実施。2019年には「ふうせん会」を有志とともに立ち上げ、ヤングケアラー・若者ケアラーが安心して交流できる場をつくり、彼らが夢を持って自分らしく生きていけるような社会をつくるために活動している。同年、第25回社会政策学会学芸(奨励賞)を受賞。国の「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」検討委員会(令和3(2021)年度)、「市区町村におけるヤングケアラー把握・支援の効果的な運用に関する調査研究」検討会(令和4(2022)年度)で委員を務めた。
著書(共編著)に「自治体のヤングケアラー支援」(第一法規)、「ヤングケアラー先輩たちの体験談」(ポプラ社)ほか。

今西 良介氏 大阪府立桜塚高等学校校定時制の課程 准校長

2023年から現職。
桜塚高校校定時制(通称「桜校」)は大阪府内で最大規模の夜間定時制高校で全校生徒約150名。少人数授業による小中学校の学び直しをはじめ、近年増加傾向にある外国籍の生徒には、「ゼロ時間め」として日本語指導も行い、生徒ひとりひとりに細やかな指導をしている。一方で、生徒たちが飛び出るの「配慮のない社会」という認識を持ち、生徒たちが自分の得意・不得意を意識し力強く立ち立てるよう、行政や地域と連携し、多面的に生徒をサポートしている。

猪俣 健一氏 社会福祉法人阪南市社会福祉協議会 事務局次長

2018年から現職。
コミュニティワーカーとして住民主体にこだわり、校区福祉委員会や買い物支援プロジェクト等を担当。農福連携、漁福連携などの取組など、ストーリー性や循環性ある地域福祉実践を基盤に相談支援や参加支援の一体化をめざし、日々地域を駆け回っている。
2024年度日本地域福祉学会優秀実践賞受賞。